

## 中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	認定 NPO 法人 まち・コミュニケーション	代表者名	代表理事 宮定章
事業名	<p>&lt;基本事業&gt; 活動継続に取り組むボランティア団体や NPO 団体への運営・活動への相談支援事業—小規模継続型、現場伴走型中間支援 認定 NPO 法人が寄り添う—</p> <p>&lt;企画立案事業&gt; 次なる災害へ向けて、力を合わせて地域力を高めよう！—NPO が地域の現場で活躍するために—</p>		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2016 年 6 月 19 日	【NPO 勉強会】熊本地震から学ぶ 災害への備え ～ 地域の持続性を考えよう ～ 淵上 順二 氏 (益城町住民・一級土木施工管理技士) 柴田 祐 氏 (熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 准教授)
10 月 22 日	【NPO 勉強会】災害時に知っておきたい法律知識～東日本大震災の経験から～ 宇都彰浩氏 (弁護士、宇都・山田法律事務所、日本弁護士会災害復興支援委員会委員)
2017 年 1 月 15 日	【NPO 勉強会】居住地移動の実態から見えてきた、被災地の教訓 田中正人氏 (追手門学院大学地域創造学部 准教授)
1 月 17 日	【NPO 勉強会】阪神・淡路大震災 22 年とこれからのまちづくりの模索 遠藤勝裕氏 (元日本銀行神戸支店長 日本学生支援機構理事長) 室崎益輝氏 (神戸大名誉教授・兵庫県立大防災教育センター長)
2 月 19 日	【NPO 勉強会】県外避難者の今～東日本大震災から 6 年～ 石東直子氏 (暮らしサポート隊・都市プランナー)
3 月 5 日	【NPO 勉強会】死者との対話を通じた復興のまちづくり ～生きた証を記録し語り継ぐ会の活動から～ 麦倉哲氏 (岩手大学教育学部、地域防災研究センター教授)

### <効果と成果>

阪神・淡路大震災から、当団体が 20 年間常駐で、地域支援をしてきた中で出会った、多くの人材・ネットワークをフル活用し、新たな人材の発掘を目指しました。阪神・淡路大震災 20 年の節目に、改めて振り返り、各自が防災力を高め、伝える人材になる場づくりをしました。

今回の事業で特に印象に残ったのは、次世代を担う高校生のグループが、防災や復興まちづくりをどのように伝えていけばよいかを相談に来てくれました！彼らの姿勢は、まじめそのもので、1 回目は、2 時間。そして、また 2 時間来られました。その事により、被災地の高校生同士の交流も当団体から生まれています。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	1,332,375
合 計	1,832,375

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	1,273,200	241,534
	旅費交通費	58,466	58,466
	郵送費	170,560	120,000
	印刷費	25,661	20,000
	小 計	1,527,887	440,000
間接経費 (一般管理費)		304,488	60,000
合 計		1,832,375	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費	162,500
自己資金	149,747
合 計	812,247

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	501,074	188,827
	旅費交通費	217,200	217,200
	謝金	89,096	89,096
	印刷費	4,877	4,877
	小 計	812,247	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		812,247	500,000